



いよいよEM 一斉投入の日が近づいてきました。皆様、けがや事故の無いようくれぐれもお気を付けてEM の日を楽しんでください。

また、この一斉投入を阻止しようとする動きがあるとの情報も入ってきています。

当日、EM の投入に支障となるようなことがございましたら、下記へお電話ください。特にマスコミの取材がございましたら、取材者の名刺をいただくこと、取材意図の確認を必ずされるようお願いいたします。

※全国 EM 一斉投入当日相談窓口:098-935-2224(EM 研究機構)

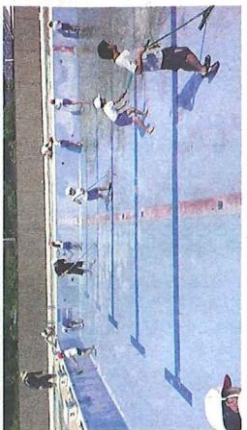
6月7日付、石巻かほく。EM の記載はございませんが、記事の佐藤さんは20年近く水田にEM を活用しています。

6月1日付、中日新聞中・東遠版にてEM を用いたプール清掃が紹介されました。

### EM菌液で児童プール掃除 森 飯田小

森飯田小学校でEM (有田微生物群) 園を使ったプール清掃があった一写真。環境浄化を進める袋井市の市民グループ、袋井はぐりの会EMショップが協力した。

1007年頃からEM園を活用してプールを清掃している。1月に5年生が米のぬめりや砂塵を入れたプールのゴミボートを家から



持ち帰り、はぐりの会メンバーとEM菌液を作ったプールに投入した。

5年生の時に菌液を作った6年生三十四人と新5年生三十五人が、教職員らとツキキアツクなど汚れを落とす。体育主任教諭は「EM園の力にくトロや薬が少なく、水を流すだけで汚れが簡単に落ちた作業が楽だった」と話した。

# 「生きた化石」大量発生

## 石巻・広渕水田にカブトエビ

石巻市広渕新田、農業に、「生きた化石」と言われるカブトエビが大量発生している。



捕獲したばかりのカブトエビと佐藤さん

20年ほど前から無農薬・無化学農法でササニシキの米を育てている佐藤さんによると、カブトエビがことし特に発生した理由は分からないが、10年ほど前から見られるようになったという。

カブトエビは日本では関東・中部地方以西に広く分布し、6、7月に水田に発生することで知られる。約2、3センチほどの大きさで頭部はカブトガニに似ている。丸い背甲

の裏面に多くの脚を持つのが特徴だ。雑草を食べ、生えにくくすることから「田んぼの草取り虫」の愛称もある。

佐藤さんは「子どもたちにかブトエビのことがや生息を知ってもらおう」と、水槽に入れたカブトエビ10匹を広渕小にプレゼントした。子どもや孫に見せようと、水田を訪れる保護者らもいるという。

カブトエビを見たい、捕獲したいという人は佐藤さん0225(73)3794(土日曜の午後1〜2時)へ。生息期間は長くて今月中旬ごろまでという。